

利 用 報 告 書

課 題 名	企業行動の国際比較分析
(英 文 名)	International Comparative Analysis on the Behavior of Corporations - An Empirical Study -
利用 者 名	道明 義弘 (社会学部 教授)

1. 研究目的・内容

日本および米国、カナダ、世界各国の企業についての財務データベースを利用し、企業行動を分析し、行動比較を試みる。

2. 研究方法・計算方法

日本政策投資銀行「企業財務データバンク」、S&P's COMPUSTAT、S&P's GLOBAL Vantageのデータをパソコンを用いて処理し、SPSS、TSP等の統計処理ソフトを用いて計算処理を行うことによって、企業行動の解明を試みる。

3. 研究成果

本年度は日本企業について、その行動を解明する手がかりとなる下記のような成果を得た。

4. 発表・出版実績または予定

『わが国電機機械器具産業の構造改革：－設備廃棄は設備投資をもたらしたか？－』

道明義弘・伊藤研一・井澤裕司

奈良大学紀要 第36号 2008年3月 pp. 151-181

『わが国輸送用機械器具産業の構造改革：－設備廃棄は設備投資をもたらしたか？－』

道明義弘・伊藤研一・井澤裕司

奈良大学情報処理センター年報 第18号 2008年3月 pp. 11-38

『わが国化学工業産業の構造改革：－設備廃棄は設備投資をもたらしたか？－』

道明義弘・伊藤研一・井澤裕司

リサーチ・ペーパー・シリーズ 07004号 (立命館大学ファイナンス研究センター) 2007年10月

『わが国印刷出版産業の構造改革：－設備廃棄は設備投資をもたらしたか？－』

道明義弘・伊藤研一・井澤裕司

ディスカッション ペーパー 08001号 (立命館大学経済学部) 2008年1月

他 11編